

4. 自然 外来生物 プログラム ③1

屋  
外  
+  
室  
内

## 沖縄の中の外国を探そう

### ねらい

身近な場所の外来生物を観察し、昔から親しんできた生きものには外国産の生きものが意外と多いことに気づき、その背景と「外来生物」と呼ばれる生きものたちが自然に及ぼす影響を考える。

### 問いかけの例

沖縄に生育・生息する外来生物について考える問いかけを行う。

- 身近な生きもので、外国から来た種類を知っていますか？
- 外国から沖縄に住み着いた生きものについて、どんな問題を知っていますか？

手 順	内 容
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者に「問いかけ」を行う。</li> <li>・安全や環境への配慮について説明する。</li> </ul>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート①を用いて観察を行う。</li> <li>・ワークシート②に、ワークシート①の生きものの原産地を記入する。</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート③を用い、振り返りを行う。</li> <li>・プログラムを経験して、私たちができることを考え、意見・感想を聞く。</li> </ul>
準備するもの (☑で確認)	<input type="checkbox"/> ワークシート①～③ <input type="checkbox"/> デジタルカメラ <input type="checkbox"/> 筆記用具

### 場所・時間帯・自然条件

- 緑が多い公園、身近な公園、森林、海岸林。都市部に外来生物の種類が多い傾向がある。
- 一年中。ただし種類によって適した時期がある。

### 安全のために・環境配慮

- 安全のために（P14）の、事前の準備、環境ごとの安全管理を必ず確認すること。
- 環境配慮事項（P15）の、ごみについて、環境ごとの環境配慮を必ず確認すること。

ワークシート① （コピーして使って下さい）

**沖縄の外來生物ワールドマップ**

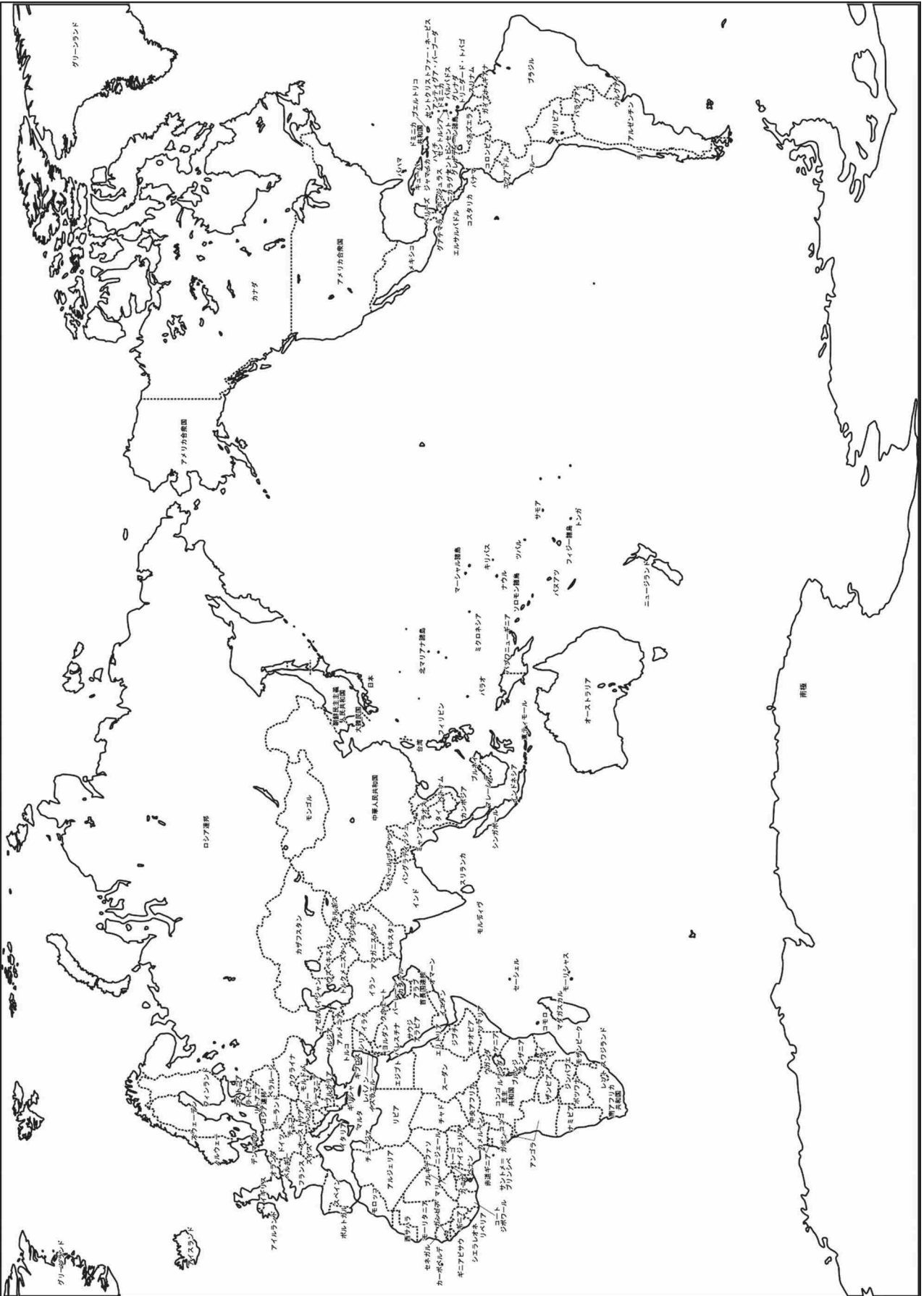
野外観察や普段の生活で見かける生きものは、もともと沖縄にいるものでしょうか？下の写真の身近な生きものは外国から来た種類です。出身地を調べて、ワークシート①のマップに配置しましょう。



<input type="checkbox"/> モクマオウ 	<input type="checkbox"/> シロノセンダングサ 	<input type="checkbox"/> アメリカハマグルマ 
<input type="checkbox"/> アフリカハウセンカ 	<input type="checkbox"/> ボタンウキクサ 	<input type="checkbox"/> ランタナ 
<input type="checkbox"/> ヒルギダマシ 	<input type="checkbox"/> グリーンアノール 	<input type="checkbox"/> オオヒキガエル 
<input type="checkbox"/> インドクジャク 	<input type="checkbox"/> ファイリマングース 	<input type="checkbox"/> モンシロチョウ 

自然

ワークシート② (コピーして使って下さい)



自然

ワークシート③ (コピーして使ってください)

振り返り

外来生物についてわかったこと、考えたことをまとめましょう。  
他の人の意見やアイデアも参考にしましょう。



外来種が入ってくることで、どんな問題が起こっていますか？

沖縄が本来の自然を取り戻すために、私たちにできることはなんですか？

やってみよう

- 身近な外来生物、ネコのことを学習して問題意識を深めましょう。(プログラム⑳地域の猫調査隊)
- 地域の自然を調べて、庭や公園には在来の植物を植栽するようにしましょう。
- 今はそれほど問題になっていない外来生物も、地球温暖化など気候が変化することで影響が大きくなるかもしれません。環境はつながっていることを意識して行動しましょう。

もっと知りたい

調べる



外来生物侵入データベース (HP)  
国立研究開発法人 国立環境研究所が提供する、侵入生物の情報が見られます。

参加しよう

- ・外来種を駆除するイベントに参加しよう。



沖縄県対策外来種リスト (HP)  
沖縄県の対策外来種をまとめたリストが見られます。

## 講師用資料①

## ワークシート②回答例

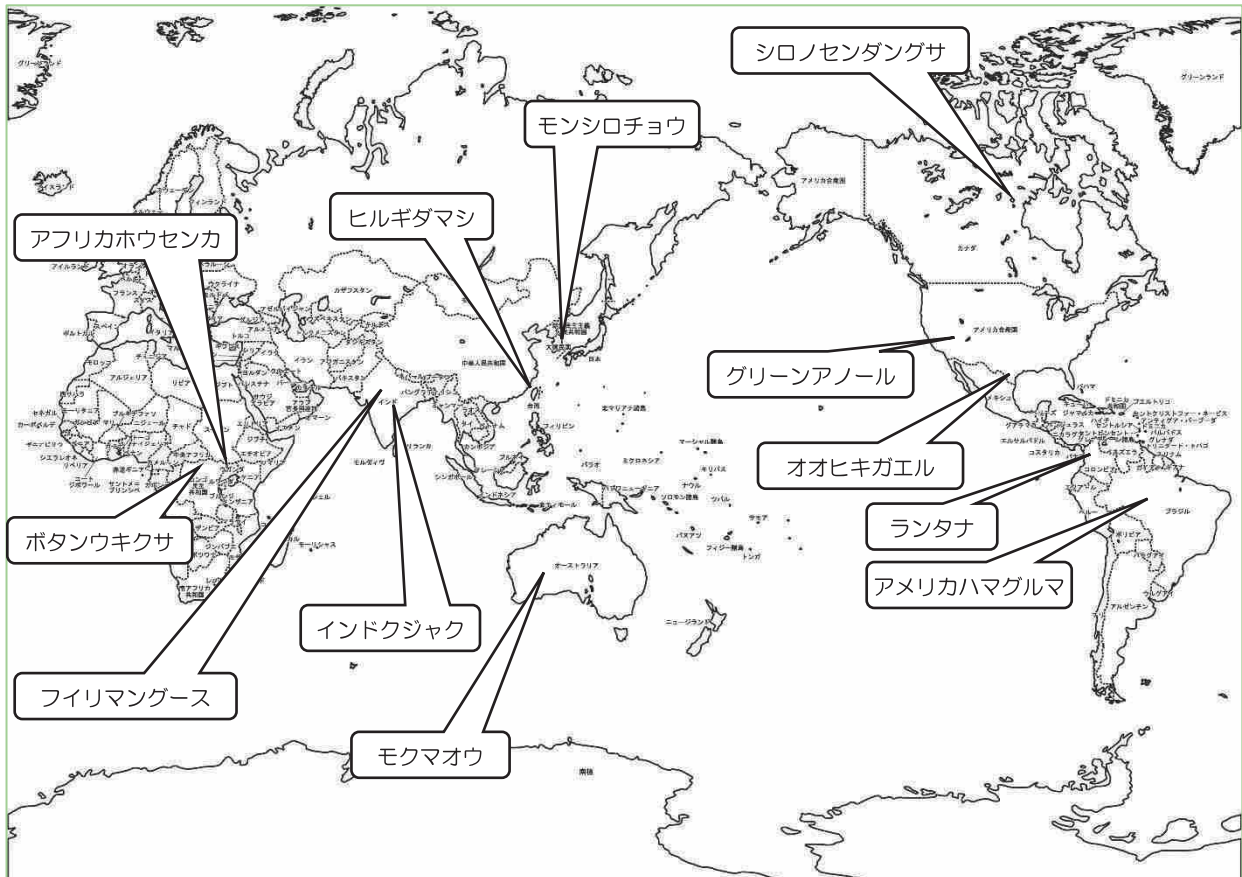
## &lt;ポイント&gt;

- ・ワークシート①を用いて、野外で身近な外来生物を確認する。
- ・それぞれの生きものと沖縄の気候との関係について考える。

## 沖縄の外来生物ワールドマップ

ワークシート①で野外観察を行い、もともと沖縄にいる生きものではない種がたくさんあることに気づく。これらの生きものたちがどこからやってきたのか、ワークシート②の世界地図に配置し、地球全体の生きものの移動について考えてもらう。

- ・名前で産地がわかる → アメリカハマグルマ、インドクジャク、アフリカハウセンカなど。
- ・移動の速度について → 人の移動のスピードとともに、生きものの移動も加速している。
- ・国内の外来種もいる → 沖縄島のヒルギダマシ、セマルハコガメなど（他の島への移動）。
- ・暖かい気候は生き残りやすい → 寒い地域から来た生きものは、暖かいところで生き残りやすい。



講師用資料②

ワークシート③回答例

<ポイント>

- ・外来種がどのような問題をもたらしているのか考える。
- ・在来の自然をどのようにして守っていくのか、何ができるのかを考える。

振り返り

記入例)

外来種が入ってくることで、どんな問題が起こっていますか？

- マングースやネコやイヌなどが、貴重な生きものたちを餌にすることがある。
- 外来の植物が池を覆い尽くして、水質が悪化するなどの問題がある。
- もともとあった在来の生きものの住む場所が奪われることがある。

沖縄が在来の自然の豊かさを取り戻すために、私たちにできることはなんでしょうか？

- イヌやネコの放し飼いはだめ。飼えなくなったときは絶対に捨てず、もらい手を探す。
- 特定外来生物や問題になる外来種について学び、こうした動植物を植えたり飼ったりしないようにする。